

めざす成果及び戦略 1-1 【自助・共助を担う地域力のあるまち】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	幅広い住民が、身近な居場所などを通じたつながりを持ち、自助・共助を担い、地域の関係機関が連携した活動とその情報発信が進むことで地域活動協議会を中心とした地域活動が活性化し、互いの人権を尊重しながら地域課題の解決に向けて継続して取り組んでいる。	身近な単位である向こう三軒両隣単位、自治会・町内会等の団体単位から、多様な主体が参画する地域活動協議会に至るまでの「つながり」の充実によって、地域での活動が活性化するよう、地域や単位に応じて必要な情報提供や、新たな担い手の発掘・気軽に足を運べる居場所づくり等への支援、及び区民への情報発信を積極的に行っていく。 また、地域別の保健福祉計画の策定、実行を支援し、その過程で、地域住民をはじめ地域の関係機関が各取組みを連携させることで、課題発見や相談支援、関係機関への連絡調整、支援のあり方の検討など、よりよい地域づくりのための仕組みを構築する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	
	地協の議決事項・事業計画・予算・決算書が広報紙・web媒体により広く公開されている地域:平成31年度末までに17/17地域 新たな参加者、担い手が増えたと感じられる地域:平成31年度末までに17/17地域 地域版保健福祉計画策定に向けて議論している地域:平成32年度末までに17/17地域	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度   個別   全体	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	

具体的取組 1-1-1 【地域活動協議会を中心とした地域活動への支援】

28決算額 68,909千円 29予算額 75,450千円 30予算額 75,379千円

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	<p>【地域実情に応じたきめ細やかな支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動協議会を中心とした各種の地域活動に対しての財政的支援と、民主性・透明性を確保し自律した運営が行えるよう支援する。</li> <li>地域別保健福祉計画の説明などの際、統計データの分析を行い、各地域活動協議会に分析結果を伝える。</li> <li>地域活動協議会の機能や役割(総意形成機能(※)等)の周知普及を補助金の趣旨説明の際に実施する。</li> <li>地域づくりアドバイザーによる支援が、地域活動協議会の自立運営に向けた支援へと転換していくよう、支援内容の見直しを検討し、地域の実情に即した支援を行う。(講座や研修、CB・SB化、社会的ビジネス化の助言・指導、NPO等法人化に向けた申請手続の助言など)</li> </ul> <p>【地域活動協議会の認知度向上に向けた支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動協議会の活動を各種媒体により広報し、地域活動協議会の活動に参加していない住民や団体、区外からの転入者に対し、活動の参加を呼びかける(広報紙、区HPトップページと地域活動協議会HPのリンク、フェイスブック、地域活動協議会パンフレットの転入者パック封入等)</li> <li>認知度向上に有効な手法分析のためのアンケートの実施</li> </ul>	<p>①地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合: <b>68%(29年度比3ポイント増) 72%</b></p> <p>②地域活動協議会を知っている区民の割合: 35%</p> <p>③地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている総意形成機能を認識している割合: 68% (29年度比3ポイント増)</p> <p>④地域づくりアドバイザーによる支援を受けた団体が、支援に満足している割合: <b>59%(29年度比3ポイント増) 65%</b></p> <p>⑤区が関与したCB/SB起案件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数: 2件 (29年度比1件増)</p> <p>【撤退基準】</p> <p>上記目標が次の目標に達しなかった場合、事業の再構築を行う。 ①~④前年度の率 ⑤0件</p>
	<p>※「総意形成機能」</p> <p>校区等地域の将来像や、住民の様々な意見の調整・取りまとめを行う機能のこと。地域活動協議会に、構成団体として様々な活動主体が参画している、また参画する機会が保障されている。</p>	<p>前年度までの実績</p> <p>H24年度 全17地域で地域活動協議会結成</p> <p>H25年度 地域活動協議会補助金等に関する意見交換会(全17地域)、連続講座(法人化講座・会計研修会・話し方講座・編集講座)</p> <p>H26年度 地域活動協議会会計勉強会(会計処理・監事の役割)、区広報紙で各地域活動協議会の活動紹介(「17地協プレス」~H30.4月まで)</p> <p>H27年度 地域づくりアドバイザーを設置。補助金に係る中間決算の実施(会計の透明性の確保)、各地域活動協議会が発行する広報紙やチラシの配架用ラックを、区役所庁舎内(2か所)に設置。</p> <p>H28年度 全17地域で地域活動協議会広報紙発行済み。</p> <p>H29年度 地域活動協議会の認知度向上(パンフレットや区HPトップリンク)、14地域活動協議会がHPやフェイスブック等を開設し情報発信を行っている。</p> <p>※業績目標のH29実績 ①64.7%、②23.4%、③64.8%、④55.1%、⑤1件)</p>

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③:撤退基準未達成</p>	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	(趣旨・目的)	
	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<p>①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③:撤退基準未達成</p>	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	<p>・東淀川区地域保健福祉計画を指針とした地域での取り組みについて、地域担当職員が地域活動協議会を中心とした地域住民と協働して自助・共助を意識したより良い地域づくりに必要な具体的取り組みを進める。</p> <p>・「地域カルテ」を作成し、各地域活動協議会との間で認識共有する。</p> <p>・災害時における行政の役割と市民の役割を互いに共通認識することで、避難所運営委員会の早期立ち上げ、きめ細やかな避難所運営を行い避難者受入業務を円滑に遂行できるよう、平常時から知識の習得と地域との連携・協働を密に行い地域防災力向上におけた支援を行う。</p> <p>・地域担当職員防災研修を受講する。</p> <p>・担当地域の防災の取り組み状況を把握する。</p> <p>・地域を担当する職員全員が、地域活動協議会の機能・役割(総意形成機能等)についてのeラーニングを受講するほか、地域担当連絡会議の際にも趣旨を説明し、理解を促進する。</p> <p>・地域において実施される避難所開設訓練等に参画し、行政と住民の役割を意識した避難所運営を支援する。また、実施されていない地域については、取り組まれるよう支援する。</p> <p>・各地域で得た課題や情報の共有化を図るため地域担当連絡会議を毎月開催し、意見交換を行うことで、地域力の向上に繋がる情報を発信する。</p> <p>【改定履歴有】</p>	<p>業績目標(中間アウトカム)</p> <p>①地域担当職員における支援が役立っていると感じる地域活動協議会の割合:86%以上(29年度比3ポイント増)</p> <p>②地域を担当する職員のeラーニング受検率及び理解度(総意形成機能) 受検率100% かつ 理解度全員95点以上</p> <p>【撤退基準】 上記目標が次の目標に達しなかった場合、事業の再構築を行う。 ①50%、②理解度95点以上の職員50%</p> <p>前年度までの実績</p> <p>平成24年度～地域担当職員が地域に赴き地域カルテを作成している。主な訪問行事…入学式・夏まつり・敬老大会・運営委員会等 平成25年8月～地域担当連絡会議を開催(毎月) 平成28年度～担当する地域活動協議会への東淀川区地域保健福祉計画の説明と地域版地域保健福祉計画策定の支援</p> <p>※業績目標のH29実績 ①82.3%、②受検率100% 95点以上(100点)67.7%</p>
	中間振り返り	<p>業績目標の達成状況</p> <p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p> <p>○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)</p>	<p>課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>

自己評価	取組実績	<p>業績目標の達成状況</p> <p>①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p> <p>○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)</p>	<p>課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p> <p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>
------	------	---	--

めざす成果及び戦略 5-1 【区民ニーズを的確に把握し反映する住民参画型の区政運営】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	区政の施策について多様な区民ニーズや意見を把握し、適切に対応するとともに、区政に反映することで、地域実情に応じた住民参画型の区政運営が行われていることを、多くの区民が実感している。	戦略<中期的な取組の方向性>	区政会議をはじめとする各種会議、市民の声や各種アンケート調査などにより、区民のニーズを把握し、適切に対応するとともに、いただいた意見や課題から改善策を区政に反映するPDCAサイクルを徹底して行うことで、地域実情や特性に応じた住民参画型の区政運営を行っていく。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	・区役所が様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合:平成31年度までに40%以上 ・日頃からPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合:平成31年度までに85%		
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない		
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない		

具体的取組5-1-1 【区民等の参画による区の特性に応じた区政運営の推進】

28決算額 499千円 29予算額 1,225千円 30予算額 870千円

計画	取組内容	<p>区の施策事業について立案段階から多様な区民等(地域活動協議会推薦及び公募からなる区政会議委員)の意見を把握し適宜これを反映させるとともに、執行段階及び事業終了段階での実績及び成果の評価にかかわる意見を聞くことで、地域の特性やニーズに応じた区民協働型の区政運営の実現をめざす。</p> <p>各専門部会を設け、それぞれの分野に関する学習会を多数開催し理解を深めながら部会運営するとともに、区政会議委員を通じた地域との連携を深めることで、より専門的で実質的な意見をいただくとともに、地域に根ざした会議運営を推進する。また、必要な意見をまとも確実に区政に反映する仕組みづくりや反映プロセスの見える化を行い、区政への反映状況や反映できなかった理由などを区政会議の場などで明らかにしていく。</p>	業績目標(中間アウトカム)	<p>①区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議委員の割合:90%以上 100%</p> <p>②区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議委員の割合:80%以上</p>
			【撤退基準】 上記目標が40%未満の場合、事業の再構築を行う	前年度までの実績 平成25年度 本会2回 平成26年度 本会4回 部会7回 平成27年度 本会3回 部会7回 意見交換会(公開)2回 学習会・意見交換会・説明会など8回 平成28年度 本会3回 部会20回 学習会33回 議長・副議長会2回(※同日開催含む) 平成29年度 本会4回 部会24回 学習会18回 議長・副議長会2回 新委員説明会1回(※同日開催含む) ※業績目標のH29実績 ①100%、②78%
中間振り返り	業績目標の達成状況	<p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③:撤退基準未達成</p>	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
		<p>①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③:撤退基準未達成</p>		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)		

取組項目7

【地域を限定しない活動の活性化(テーマ型団体)】

計画	<p><b>取組の方針・目標内容</b></p> <p>(趣旨・目的) 活動圏域を限定せず、地域社会の課題に取り組むテーマ型団体※に対して、「市民活動総合ポータルサイト」を活用するなど「IV多様な市民活動への支援メニューの充実」で整理する支援メニューの情報を適切に提供することで、活動の活性化の支援を充実させる。 また、区とテーマ型団体との接点が増加するよう職員意識の向上に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※「テーマ型団体」:お住まいのエリアに関わらず、様々な個人や団体などにより構成された団体</p> </div> <p>(取組の概要) ① テーマ型団体への支援窓口の設置 ・多様な活動主体間の交流の場への参画などにより、テーマ型団体とのつながりをつくるとともに、「市民活動総合ポータルサイト」の活用などにより、テーマ型団体も対象とした支援情報の提供ができる窓口を設置する。</p> <p>② ICT活用による市民協働のきっかけづくり(取組項目5の再掲) ・SNSなどのICTを活用した、地域住民への情報発信や対話を進める取組を進め、市民同士または市民と行政がつながり、様々な地域課題を市民協働で解決するきっかけづくりを行う。また、ICTを活用して地域課題解決に取り組む「Code for OSAKA」によるCivicTech活動と、地域課題解決に取り組む市民や市民活動団体との橋渡しを行うなど、地域活動への新たな担い手の参画につなぐ。</p> <p>(目標) 各区の市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数:前年度比10%増 ・ICTを活用した市民との対話を促進する取り組みを新たに創出した件数:1件</p>	<p><b>当年度の取組内容</b></p> <p>(取組の内容) ①テーマ型団体への支援窓口の設置 ・市民活動に関する支援窓口において、支援情報を提供する。 ・地域活動協議会連絡会議において周知を行う。 ・異次元交流ライブ等のイベントにおいて周知を行う。</p> <p>②ICTを活用したきっかけづくり ・フェイスブックやツイッターにより若い世代への地域行事の参加を呼びかけるため、従来のイベント開始直前の発信だけでなく、事前の開催予定情報なども知らせる。</p> <p>(目標) ① <b>29年度に支援窓口の設置を行ったことが周知され、役立てられたかを図るため、当区の市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数29年度比10%増をめざす。:24件</b> ②ICTを活用した市民との対話を促進する取り組みを新たに創出した件数:1件</p> <p>(目標のH29実績:①9件(H29.11~)、②3件)</p>
----	---	---

中間振り返り	<p>取組内容の実施見込み</p> <p>(i)実施見込み (ii)実施できない見込み</p>	<p>課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須</p>
	<p>目標の達成見込み</p> <p>①:達成見込み ②:達成できない見込み</p>	

自己評価	<p>当年度の取組実績及び目標の達成状況</p>	<p>課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須</p>
	<p>①:目標達成 ②:目標未達成</p>	

取組項目8

【地域活動協議会への支援  
活動の活性化に向けた支援(準行政的機能の趣旨についての理解度向上)】

計画	<p><b>取組の方針・目標内容</b></p> <p>(趣旨・目的) 地域活動協議会に対して「準行政的機能」※が求められることについて、地域住民の理解が深まるよう働きかける。</p> <p>(取組の概要) 地域活動協議会に期待する準行政的機能の趣旨についての理解度向上 ・地域活動協議会に期待する準行政的機能について、地域を担当する職員全員を対象にeラーニングの実施などにより改めて職員の理解を促進するとともに、地域活動協議会の役員や構成団体の方をはじめ地域住民の理解が深まるよう引き続き機会あるごとに積極的に発信する。</p> <p>(目標) ・地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度 受験率100%かつ理解度平均95点以上をめざす</p> <p>地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合：平成31年度までに80%</p>	<p><b>当年度の取組内容</b></p> <p>(取組の内容) ・地域を担当する職員全員が、eラーニングを受講 ・地域活動協議会に対しては、補助金の趣旨説明の際に実施</p> <p>(目標) ①地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度 (準行政的機能) 受験率100% かつ 理解度全員95点以上</p> <p>②地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合：<b>72% 75%</b></p> <p>(目標のH29実績：①受験率100% 95点以上(100点)73.9%、②68.9%)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※「準行政的機能」：校区等地域内で、他の市民活動団体が行っていない地域活動をカバー(補完)しながらまちづくりを進めていく機能</p> </div>
	<p>①: 目標達成 ②: 目標未達成</p>	

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①: 達成見込み ②: 達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①: 目標達成 ②: 目標未達成	

取組項目9

【多様な市民活動への支援メニューの充実  
地域の実態に応じたきめ細やかな支援(派遣型地域公共人材による支援)】

計画	<p><b>取組の方針・目標内容</b></p> <p>(趣旨・目的) 地域コミュニティの活性化から多様な協働(マルチパートナーシップ)の推進に対する支援にあたっては、その課題に応じて、地域づくりアドバイザーや派遣型地域公共人材などが適切に活用されるよう、活用方をわかりやすく取りまとめ、活用を促進する。(再掲)</p> <p>(取組の概要) 派遣型地域公共人材の活用促進 ・幅広い市民活動団体を対象として構築してきた派遣型地域公共人材機能について、ホームページやSNSを活用した情報発信を行い、積極的な活用を促す。</p> <p>(目標) 派遣型の地域公共人材が活用された件数：前年度比1件増</p>	<p><b>当年度の取組内容</b></p> <p>(取組の内容) ・地域公共人材の活用について、地域活動協議会連絡会議の場で情報提供を行う。</p> <p>(目標) ・派遣型の地域公共人材が活用された件数：1件</p> <p>(目標のH29実績：0件)</p>
	<p>①: 目標達成 ②: 目標未達成</p>	

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①: 達成見込み ②: 達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①: 目標達成 ②: 目標未達成	